

次回一般選挙から2人減 議員定数を



第1回定例会の様子

論が交わされました。

現状維持の方向では、削減よりも議会の活性化を図るため「地域と一体となった議会活動の推進や定例会の状況の地域への報告などで町民の理解を得ることが先だ」などの意見が、定数削減の方向では「自立を歩む本町にとつても削減は避けて通れない」などの意見が出されました。

第5回委員会では「調査・議論は尽くされたもの」として意見集約がなされ、現状維持賛成3人、定数削減賛成3人の同数となりましたが、委員長が削減に賛成し、削減賛成の採決となりました。

この採決を受けて議論した結果、次の理由により「2人減の16人とするのが妥当である」との結論に達しました。

【理由】

①合併により、町村数と共に議員定数が大幅に減少している。自立の道を歩む本町にとつても、定数削減は避けて通れない。
②最近、近隣の市町村が定数を削減しており、町民はこの特別委員会が設置された段階で、議員定数

を削減するものと考えている。現在の近隣市町村の定数削減状況などを勘案すると、現状維持では納得を得られない。

③町では、厳しい財政状況の中で行財政改革を進めており、議会としても改革の一環として定数削減をしなければならない。

④議員定数を減らすと「新たに議員となる機会が狭くなる」とともに、地域住民の声が議会や行政に反映されにくくなる」との懸念はあるが、情報通信網の整備状況などから、大きな影響はない。

賛成多数で条例可決 次回の選挙より適用

委員会での調査・検討結果について全員協議会で概要が示された後、本定例会第16日目（3月5日）に道又秀悦議員が提出者、議員5人を賛成者とする「山田町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」（定数を「18人」から「16人」に改め、次回の一般選挙から適用）が追加提案され、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。